令和３年度　第４７回

鳥取県中学校総合体育大会剣道競技大会要項

１目的 本大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広く剣道実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学校生徒の育成をするとともに、中学校生徒の相互の親睦をはかるものである。

２ 主催 鳥取県中学校体育連盟

３ 後援　 鳥取県教育委員会　（公財）鳥取県スポーツ協会　　米子市教育委員会

４ 主管　 米子市中学校体育連盟　　鳥取県中学校体育連盟剣道専門部

　　　　　　　　鳥取県剣道連盟　　米子市剣道連盟

５ 会期　 令和3年7月17日（土）

　　　　　　　　予備日　令和3年7月18日（日）

６ 日程　 競技開始　9:10～

　　　　　　　 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開閉会式は行わない。

７ 会場　 鳥取県立武道館　　〒683-0853　米子市両三柳3192-14　　℡0859－24－9300

　　　　　　　　予備日　倉吉市立東中学校　体育館

８ 参加資格　 (1)参加者は鳥取県中学校体育連盟加盟の学校に在籍し、学校教育法「第１条」にもと

　　　　　　　　　 づく該当中学校生徒であること。

　　　　　　　 (2)年齢は平成１８年４月２日以降に生まれたものに限る。

(3)前項以外の生徒が参加を希望する場合は、その年度の６月３０日までに鳥取県中学校体育連盟を通して（公財）日本中学校体育連盟に申し出ること。

(4)各地区中学校体育連盟主催の競技大会において、県大会参加資格を得たチームまたは個人とする。

　　　　　　　 (5)チーム編成は一校単位で組織されたものとする。

　　　　　　　 (6)夏季大会に限り、同一年度内の参加は全種目を通じて一人一回とする。

　　　　　　　 (7)個人戦は、(4)の項の個人戦の部より選抜されたものとする。

(8)参加生徒の引率・監督は、出場校の校長・教員・部活動指導員※１とする。なお部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。但し、個人種目への参加について、校長・教員・部活動指導員が引率できず、校長がやむを得ないと判断した場合に限り、「鳥取県中学校総合体育大会引率細則」により、校長が引率者と承認した外部指導者の引率を認める。その際には、所定の書類を県中体連と専門部に提出すること。（※１の部活動指導員は、学校教育法施行規則第７８条の２に示されている者）

９ 参加制限 各地区のチーム・個人の割り当ては次の通りとする。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 郡 市 | 東部 | 中部 | 西部 | 合計 |
| 団体 | 男 | 6 | 4 | 6 | 16校 |
| 女 | 6 | 4 | 6 | 16校 |
| 個人 | 男 | 16 | 12 | 16 | 44名 |
| 女 | 16 | 12 | 16 | 44名 |

チーム編成は一校単位で組織されたものとし、団体戦は以下に定める条件を満たすこと。

　　　 団体戦　男女とも監督１名　選手５名　補員２名　計８名

　　　 ただし選手は３名以上５名以内であれば認められる。

　　　 （順番は、３人の場合は先・中・大、４人の場合は先・中・副・大とする）

10 競技規則 (1)全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則・細則」及び

　　　　　　　　　 （公財）日本中学校体育連盟「剣道部申し合わせ事項」による。

　　　　　　　　　また、新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判法による。

(2)鳥取県中学校総合体育大会剣道競技大会参加要項（以下）により実施する。

* ゼッケン（学校名・姓）をつけていないチームは出場させない。
* 同姓の選手がいるときは名前の頭文字を入れること。

・　面マスクを着用し、鼻も隠す。面にはマウスシールドを装着すること。

* + 選手変更は各試合場の審判主任に申し出る。ただし、補員の補充のみとし、オーダーの変更は認められない。
	+ 突き、片手打ちは有効としない。
	+ 故意の突きは反則の対象となる。
	+ 「変型な構え等の防御態勢」をとった場合は、１回目は「合議」の上「指導」、２回目以降は「合議」の上「反則」（公正を害する行為）とする。時間空費と判断した場合は、規定通り反則とする。
	+ 竹刀は男子114cm以下・重さ440ｇ以上、女子114cm以下・重さ400ｇ以上で、太さは竹刀の先革先端部最小直径（対辺直径）が男子25mm以上、女子24mm以上のものとする。さらに竹刀のちくとう部直径（竹刀先端より8cmのちくとう対角最小直径）が男子20mm以上、女子19mm以上のものとする。先革の長さは50mm以上のものとする。竹刀ゲージで検査をする。
	+ 竹刀については検印のある竹刀のみ使用することができる。検印のないものは不正竹刀と見なす。
	+ 不正竹刀を使用した場合は、剣道試合規則第１９条１，２，３を適用する。ただし、団体戦は補員の出場を認める。
	+ 鍔は直径9cm以下の革色(白色も可)のものを使用し柄革の元で固定する。
	+ 足袋、テーピング、サポーターの使用は、あらかじめ審判主任に申し出て許可を得る。ただし、ゴム底、革底のものは使用禁止。
	+ 面乳革は、大きさ、色、模様も含めて華美にならないように配慮し、色は黒色または紺色とする。
	+ 柄革は、滑り止め（ゴム等）や模様等のない無地のもので、白色とする。
	+ 稽古着・袴は、黒・紺・白が望ましい。
	+ 面金を黒塗りにした面など、通常の配色でない面の使用を禁止する。
	+ 試合規則の実施について疑義のある場合は、直ちに監督が監督旗を表示し、審判主任に申し立てることができる。

11 競技方法 団体戦・個人戦ともトーナメント方式とする。

女子団体戦－男子団体戦－女子個人戦－男子個人戦の順に行う。

試合時間 個人戦は３分３本勝負。勝負の決しない場合は延長戦を行う。延長戦の試合時間は２分とし、延長戦１回目、延長戦２回目、深呼吸等の「休息」、延長戦３回目、延長戦４回目、給水等の「休憩（３分）」、延長戦５回目、延長戦６回目、深呼吸等の「休息」、延長戦７回目、延長戦８回目、給水等の「休憩（３分）」という順に適用させて勝敗が決するまで繰り返す。

団体戦は３分３本勝負。延長２分。勝負のつかない場合は引き分け。

団体戦 勝者数－勝本数の多い方を勝者とする。チームの勝敗が決した場合の延長戦はしない。同数の場合は任意の代表者による代表戦（１本勝負）を行う。

12 表彰 団体１～３位までの学校及び登録選手に鳥取県中学校体育連盟より賞状を授与する。

個人１～３位までの選手に鳥取県中学校体育連盟より賞状を授与する。

13 参加申込　　 ①団体・個人とも、所定の様式に必要事項を入力して、③のアドレスに送信すること。

　　　　　　　　　　また、必要事項を入力した申込書を印刷し、校長印を押印して④に提出すること。

　　　　　　　　　②申込期限　　データ（③）：令和3年6月9日（水）必着

　　　　　　　　　　　　　　　　申込書（④）：令和3年6月11日（金）必着

　　　　　　　　　③アドレス　　原則、EDUCOMﾏﾈｼﾞｬｰC4thで大山中　大黒浩二宛に提出。

国立、私立の学校とC4thで送れないときは、

mitsushima\_ku@mailk.torikyo.ed.jp　（大山中　大黒浩二）

　　　　　　　　　④申込先　　　〒682－0021　倉吉市上井430番地　℡0858－26－1341

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 倉吉市立河北中学校　中山　雅敦　宛

※期限を厳守し、必ず郵送または持参すること（FAX不可）。

14 組合せ 令和3年6月15日（火）第2回県総体実行委員会において各地区理事による

代理抽選により決定する。

15 その他　　 中国大会　8月5日（木）岡山県倉敷市

団体　男女各2チーム　ベスト2　　　個人　男女各8名　ベスト8

全国大会　8月20日（金）～22日（日）　神奈川県川崎市

団体　男女各1チーム　　　個人　男女各2名

 　　　（申し合わせ事項）

・応援は拍手のみとする。

・選手交替の際には、余計な所作（胴突き・握手など）の行為は禁止する。

　　　　　　　 ・競技中の疾病、傷害については、応急処置をする。

　　　　　　　 ・団体戦のオーダー表は各校で準備し、大会当日持参して受付で提出する。

　　　　　　　　　オーダー表の様式は、Ｂ４用紙横長２枚をつなぎ合わせて作成し、左より学校名、先・次・中・副・大と選手名を記入すること。女子は学校名の下に赤線を引く。（抽選会後、県総体出場校に送信される様式を使って作成してもよい。）

　　　　　　　　・個人情報のうち、大会運営上必要である名前、学年、所属、競技の特性上必要なものについては公開する。また、報道機関に記録の提出を求められた場合は提供する。

　　　　　　　　・本大会は「鳥取県中学校体育連盟主催大会の実施及び参加におけるガイドライン」に従って開催する。

16 連絡先 (1)大会開催前　倉吉市立河北中学校　中山　雅敦　℡0858－26－1341

(2)大会開催中　鳥取県立武道館　　　　　　　 　℡0859－24－9300